

恵庭市中小企業振興審議会（令和 6 年度 第 1 回） 会議録

○日 時 令和 6 年 11 月 14 日（木）13：30～14：30

○場 所 恵庭市役所 第 2・3 委員会室

○出席者 黒田委員（会長）、宮崎委員（副会長）、竹内委員、武井委員、安藤委員、加来委員
成田委員、小塚委員 計 8 名

○欠席者 伊藤委員、加藤委員、田中委員、須藤委員 計 4 名

○傍聴者 1 名

○事務局 江川経済部長、上山商工労働課長、廣瀬花と緑・観光課長、
坂本商工労働課主査、遠藤商工労働課主査、栗城商工労働課主事
計 6 名

1. 開 会

<開会宣言>

本会議は、恵庭市中小企業振興基本条例第 11 条の規定により、委員の過半数の出席により成立することとなっている。本日は委員 12 名のうち、過半数を超える 8 名の出席をいただき、委員の過半数を超えていることから、本会議は成立する。

<挨拶>

開催にあたり、江川経済部長より挨拶

<委嘱状交付>

委員の所属団体内の異動等により 2 名の委員が変更となったため、経済部長より委嘱状を交付。

<副会長選任>

委員の変更に伴い、成田茂利委員から後任の宮崎好司委員を副会長として選任することとなった（一同異議なし）。

2. 議 事

(1) 令和 6 年度基本計画推進管理専門部会での意見・提案について

（事務局より説明後、審議）

委員

企業立地促進補助金について、新たな支援措置など検討はされているか。また、補助金以

外のソフト面のサポートなどはやられているか。日本立地センターの調査では地域の企業に関する情報提供や事業連携マッチング支援など、補助金以外のソフト面でのサポートを期待するという意見もあったので、そういった面を強化していくことも効果的ではないかと思う。

事務局

補助金にプラスして市の魅力や立地環境をPRしていくというのが現状の考えであるため、既存の補助金の見直しまでは議論は至っていないが、企業の誘致については、現状市の工業団地に空きがないため、企業所有の未利用地を紹介している。このようなマッチングを基本的に一対一で個別に対応していくということを基本的な考え方として実行している。

委員

今後造成を検討している工業団地の位置などの情報はるか。

事務局

都市計画マスタープランでは新たな市街地として戸磯地区・上山口地区・西島松地区を検討場所としている。

新工業団地の位置は現時点では明確にお示しすることはできないが、戸磯地区ということはお伝えできる状況である。

委員

北広島ではボールパークにより駅からシャトルバスが出たり新駅が出来る予定など目新しい変化があるが、恵庭市ではそういった観光に立ち寄る場所など市でも把握されているか。

事務局

道の駅を中心とした「花の拠点はなふる」が一番入り込み客数が多い。公園やイベント、新鮮な野菜の直売所もあり、市内外から多くの方が訪れる。

また、恵庭に来ていただいたからには他も観光に行っていただきたいということで、令和5年度に市内周遊プランというものを作成した。花にまつわる市内周遊ルートを3つご用意させていただいており、その中で自然や滝がある盤尻地区なども回っていただくような仕組みを作っている。今後はこの取り組みが浸透していくように進めていきたいと考えている。

委員

中小企業を支援する私どもの方でも毎年企業向けの状況調査をさせていただいているが、今年は昨年と比較して景気がかなり踊り場に来ており、また、人手不足に悩んでいる企業も65%程度あり、若干ダウントレンドに来ているとの回答が多かった。令和元年度に恵庭市でも企業の経営者様向けの調査をされているが、それ以降は何か調査は実施しているか。

事務局

今年度同様の調査を実施しており、今現在は調査結果の内容を精査している段階。この調査は令和8年度以降の基本計画第3期の策定の基礎資料としても使うものである。

委員

学生の最近の就職事情はどのような傾向があるか。

委員

就職率はほぼ 100%に近い状況。少し前までは、地元に戻りたい・道内にいたい、という学生が多かったが、最近は道外に行く学生も増えている。また、昔は「これをやりたい」という思いから就職先を決めることが多かったが、今は基本給など給料を見て決める学生も増えている印象がある。

また、健康栄養学科（管理栄養士養成）では、最近は施設や病院ではなく企業に就職したいという学生が増えている。

就職率でいえばほぼ 100%であるため、先ほど人手不足という話もあったが本当に人がいないのだなと感じたところである。大学でも定員割れをしている科もあるが、大学としてはいかに恵庭に人が集まってくるか、どのようにすれば魅力ある地域であると訴えられるかということはすごく考えているところである。

委員

盤尻地区の市民スキー場の夏場の利用がないのは勿体ないと感じている。オリンピックの影響もありマウンテンバイクやスケートボードなどのアーバンスポーツの人氣が出てきているので、コースとして利用できれば人が集まり魅力発信に繋がるのでは。北海道にもコースはあるが、やはりまだ足りていない状況。また、スケートボードなどは騒音問題などもあり公園で禁止されていることもあるが、盤尻地区ではそういった心配もないので一定数の人が来るのではないかと感じた。

また、利用可能となれば次は企業がいかにビジネス化していけるかということに繋がるのではないか。

事務局

「ふれらんど」という公園にあるフォレストアドベンチャー様では今年から、子供向けのマウンテンバイクの無料体験を実施し始めた。ご意見のとおり、市民スキー場の夏場の利用の検討は盤尻地区の観光の基本構想の内容にもなっており、色々とソフト事業を進めていきたいと考えている。スキー場では、今年偶々ではあるが、音楽フェスを実施していただき賑わいを見せた。ただ、やはり 1 日の事業になってしまうので継続したアクティビティなどが望ましいため、キャンプ場も含め検討・協議していきたいと考えている。

委員

スケート場は夏場の利用はあるか。

事務局

夏場は花火大会の打ち上げ場所や駐車場等になることがあるのは認識しているが、それ以外の利用は把握していない。

委員

申し込みをすれば利用は可能なのか。

事務局

担当部局が異なるが、協議は必要かと思うが利用目的によっては可能かと思われる。

委員

市内企業マッチングとあるが、銀行でもご用命を受ければ協力させていただく。ただ、どちらかというと相談を受けるのは「こういう業種と組みたい」というもので市内より道内ということが多い。市内だとある程度すでにお客様同士繋がっているので、市内マッチン

グというご相談は少ないかなと思っている。

また、起業支援について我々もスタートアップ、起業を支援する動きになっている。事業計画の作り方からお手伝いさせていただくので、起業する覚悟をお持ちの方であればバックアップさせていただきたいので、ご紹介いただければと思う。

そして、事業承継に関しても力を入れて支援しているのでうまく使っていればありがたい。

委員

市ではこれらのことについての相談などはあるか。

事務局

まず、起業については比較的多くの相談があり、相談会を実施したり必要に応じ各種機関を紹介・連携したりしている。

事業承継については、相談を受ける体制を整えてはいるが、ここ数年相談自体が無い状況。事業承継引継ぎ支援センターなど専門組織もあるので、そういった所が主な相談先となっているのかなと考えている。もちろん相談体制はあるので、ご相談があったら必要なお手伝いはさせていただく形となる。

委員

国の方でも事業承継は課題と捉えており、恵庭においては事業承継引き継ぎ支援センターが商工会議所と連携して相談会なども実施している。また、自治体が事業承継支援に取り組む場合に、サポートできないかというところからまずは調査に着手したところである。今後、取り組みがあればぜひ協力させていただきたいと考えている。

委員

意見集約表の中に出てきている施策で実際に取り組んだ事例はあるか。

事務局

ご意見を頂戴した段階ですので、今後できるものできないものを細分させていただき、本日のご意見も踏まえて進めていきたいと考えている。

委員

マリオットホテルについて、朝食は予約すれば食べられるが、昼夜の食事はない。また、バスやタクシーも無く、観光したくても足がない。ライドシェアはいろいろと難しい部分もあると思うが、それらに対する取り組みは何かあるか。

事務局

市内飲食店等のご利用にお使いいただくため、タクシーチケット 1000 円券を 2 枚配布するタクシーチケット事業を実施している。ご意見のとおり、タクシーが不足している事実があるので、タクシーチケット事業で消費拡大や観光振興を図っていききたいと考えている。

委員

最近、起業したいという学生から相談を受けることがある。学生が支援を受けることは可能か。

事務局

支援にも色々な段階があるが、中小企業診断士の先生による起業に関する個別相談を月に

1 回実施している。また、起業時の経費に対する補助金事業も実施している。また、今年は終了したが起業塾という起業に関するセミナーも実施しているので、市の方にお問い合わせいただければご相談に乗れるため、市の窓口をご紹介していただければと思う。

委員

商工会議所の方でも起業したいという方を集めてワークショップをしているのでご利用いただければと思う。

委員

中小企業騒動支援センターでも起業を含めていろいろな相談を承っているのでぜひご相談いただければと思う。

事務局

このように各機関でも様々な相談体制があるため、市に相談が来た際には可能な限りお伝えできるように考えている。

3. その他

(1) 今後のスケジュールについて

令和 8 年度の中小企業振興基本計画の改定に向け、令和 7 年度に改定作業を行うこと等について事務局より説明

4. 閉 会

以 上